

令和8年10月開館予定

湯沢市複合公共施設 愛称投票を行います

【基本コンセプト】

多世代が集い、学び、憩い、交流できる「にぎわい拠点」

投票期間

8月1日(金)
から

9月1日(月)
まで

応募総数1,260点の愛称の中から、市が候補作品を9点選出しました。

湯沢市複合公共施設がより多くの方に親しみをもって利用してもらえるような愛称をこの中から一つ選び、投票してください。たくさんの投票、お待ちしております！

今回の投票結果を参考に愛称を決定し、決定した愛称は10月（予定）に公表します。

投票資格

湯沢市にゆかりのある方（在住、在学、在勤、出身者など）

※湯沢市となにかしらつながりがあれば、誰でも投票できます。

（例）知人がいる、観光で訪れた、ふるさと納税をした、LINE登録をしている …など

投票方法

以下のいずれかの方法で投票してください（一人1回まで）。



1 投票フォームから送信

右記の投票専用フォームにアクセスし、必要事項を入力後、送信。
（同一の端末から何人でも投票できます）



投票専用フォーム



2 投票用紙の提出

裏面の投票用紙に必要事項を記入し、投票箱に投函または郵送もしくはFAXで下記に提出（投票用紙は以下の施設に設置しているほか、市ホームページからもダウンロードできます）。



市ホームページ

投票箱と投票用紙の設置場所

市役所各庁舎、湯沢生涯学習センター、稲川生涯学習センター、雄勝文化会館、湯沢図書館、子育て支援総合センター、男女共同参画センター、各地区センター

問（提出先）〒012-8501 湯沢市佐竹町1番1号

湯沢市教育委員会事務局 生涯学習課 複合公共施設開設準備室

（☎ 0183-56-7040 FAX 0183-72-8515）

湯沢市 複合施設 愛称投票



① 該当する項目を○で囲んでください

1 私は、湯沢市にゆかりがあります (はい ・ いいえ)

※市在住、在勤、在学、出身者のほか、湯沢市となにかしらのつながりがあれば 誰でも投票できます。

2 私は、今回初めて投票します (はい ・ いいえ)

② あなたの年齢にあてはまるものを○で囲んでください

(10歳未満 ・ 10代 ・ 20代 ・ 30代 ・ 40代 ・ 50代 ・ 60代 ・ 70代 ・ 80歳以上)

③ 以下の候補作品から一点を選び、『候補作品の番号』を○で囲んでください

番号	愛称 (あいうえお順)	由 来 ・ 理 由
1	あず A Z マーレ	AからZまではアルファベットのすべてなので、「どの世代もみんな“あつまーれ”」という意味を込め、さらに秋田訛りの要素を加えて「あず(づ)まーれ→AZマーレ」としました。
2	いここ I C O C O	みんなにとって「居心地」の良い場所になって欲しい、個々が個性を出せるような場所になって欲しい、此処にまた来たい、此処に帰ってきたいと思えるような場所になって欲しい、という思いを込めました。
3	いこっと i c t t o	湯沢市の成長戦略であるICT技術の活用に注目し、ICTと(ict to)共に成長する湯沢市を願って名付けました。英語のtoには未来を指す意味があり、「from ICT to ○○」のように、ICTを起点に好影響をもたらす最先端モデル施設になる期待が込められています。また、「ちょっと行こっと(ictto)」と気軽に立ち寄り、交流できる場所であってほしいという願いも込めました。
4	ココ・フラット	「ここにふらっと立ち寄れる」場所になってほしい、「ここ(湯沢)」+「ふらっと」としました。図書館も子育て支援センターも気軽に使ってほしいという願いを込めました。
5	サチアス	「幸(さち)」と「明日(あす)」、明日も幸せな日になりますようにと言う願いを込めて、誰でも分かるようにシンプルに名付けました。
6	ゆいなす Y u i n a s	湯沢市の特徴である「湯(ゆ)」と米作りの「稲(いな)」をベースとして、英語の「join us(ジョイナス＝“参加しよう、一緒にやろう”)」の意味も込めました。訪れる全ての人に開かれた施設であることを表現しており、また人と人の繋がりとしての「結い」を「成す」という言葉に切り分けると、「地域に根差した人々が繋がる」施設であることを表しました。
7	ゆざわけえと YUZAWA GATE	「GATE」は市外から訪れる人が最初に触れる湯沢の顔として、「この場所から湯沢が始まる」という意味で、英語を取り入れたシンプルで覚えやすいネーミングとしました。多世代が出会いながら「開かれた門」として、また新たな学びや活動のきっかけとなる「未来への入口」として、挑戦と想像の場を提供する場所となるようにとの思いも込めました。
8	ゆざわん！	湯沢は素晴らしい(wonderful)のワンと、湯沢はナンバーワン(one)のワンと湯沢を合わせて名付けました。
9	ユプラス	「湯沢市」の頭文字「ユ」と、英語の「plus(プラス)」からの造語です。訪れた人々にとって「プラス」になる交流や学習や経験ができるような施設になってほしい、との思いを込めて名付けました。